

下水道事業会計

令和6年度決算について

1. 下水道事業の目的(下水道法第1条)

公衆衛生の
向上

市街地に汚水が滞留しないよう、汚水を排除し、公衆衛生を向上。

公共用水域の
水質保全

汚水を適切に処理することで河川等の水質を保全。

浸水防除

雨水の排除により浸水被害を防除。

2. 整備・改築更新の状況（参考資料 決算報告書その他財務諸表 16 頁関連）

(km及びhaは年度末累積)

	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (当会計年度)
1	汚水管渠整備延長	594.8km	597.1km	599.6km
2	処理区域面積	2,563.5ha	2,566.7ha	2,570.5ha
3	全体区域面積に対する普及率	88.7%	88.9%	89.0%
4	重要な管渠の耐震化済延長	約70km	約80km	約85km
5	重要な管渠の耐震化率	約47.0%	約53.7%	約57.0%
6	雨水渠整備延長	213.8km	214.1km	214.4km
7	雨水渠整備面積	893.4ha	895.3ha	2,429.7ha

3. 業務量（参考資料 決算報告書その他財務諸表 28 頁関連）

	区分	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度 (当会計年度)
1	行政区域内人口	187,522人	186,700人	186,007人
2	処理区域内人口	156,500人	156,100人	156,100人
3	人口普及率	83.5%	83.6%	83.9%
4	処理区域内戸数	87,446戸	88,212戸	88,882戸
5	水洗化戸数	82,424戸	83,294戸	84,040戸
6	水洗化率	94.3%	94.4%	94.6%
7	汚水量	27,041,483m ³	26,900,234m ³	28,144,206m ³
8	有収水量	19,319,878m ³	19,229,258m ³	19,506,176m ³
9	有収率	71.4%	71.5%	69.3%

4. 損益計算書（参考資料 決算報告書その他財務諸表 6 頁関連）

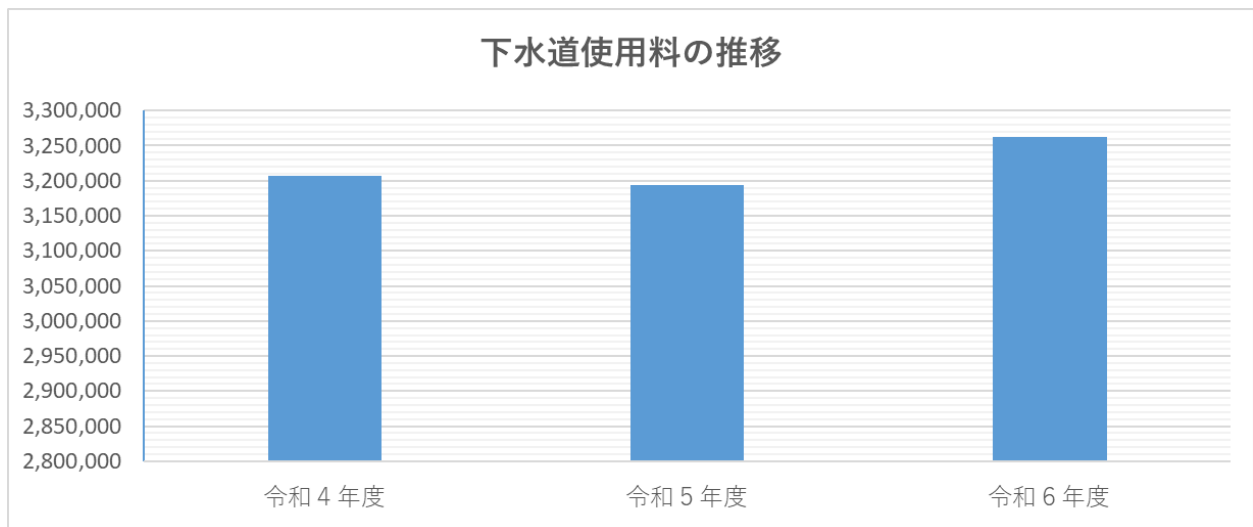
（単位：円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度 （当会計年度）
1 営業収益				
	(1) 下水道使用料	3, 207, 118, 886	3, 193, 210, 219	3, 261, 835, 792
	(2) 雨水処理負担金	557, 749, 187	549, 375, 228	543, 124, 852
	(3) その他営業収益	288, 000	311, 000	580, 500
計		3, 765, 156, 073	3, 742, 896, 447	3, 805, 541, 144
2 営業費用				
	(1) 管渠費	168, 265, 393	191, 973, 264	192, 180, 409
	(2) ポンプ場費	27, 011, 805	26, 648, 123	26, 442, 146
	(3) 下水道管理センター費	93, 744, 010	91, 438, 867	92, 641, 551
	(4) 普及指導費	55, 720, 989	51, 936, 035	60, 054, 158
	(5) 業務費	113, 908, 962	119, 645, 754	129, 482, 153
	(6) 総係費	127, 836, 912	137, 364, 234	117, 623, 324
	(7) 流域下水道維持管理費負担金	1, 611, 357, 275	1, 636, 609, 093	1, 774, 346, 365
	(8) 減価償却費	3, 260, 821, 450	3, 284, 444, 582	3, 305, 249, 892
	(9) 資産減耗費	65, 264, 700	5, 268, 512	4, 918, 258
計		5, 523, 931, 496	5, 545, 328, 464	5, 702, 938, 256
営業利益（△は損失）		△ 1, 758, 775, 423	△ 1, 802, 432, 017	△ 1, 897, 397, 112
3 営業外収益				
	(1) 他会計補助金	1, 218, 173, 813	1, 086, 855, 772	1, 112, 859, 148
	(2) 長期前受金戻入	1, 036, 639, 343	1, 033, 601, 897	1, 041, 406, 940
	(3) 負担金	35, 308, 922	37, 294, 658	49, 111, 973
	(4) 雑収益	850, 678	1, 778, 464	1, 973, 947
計		2, 290, 972, 756	2, 159, 530, 791	2, 205, 352, 008
4 営業外費用				
	(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	538, 363, 185	481, 324, 828	437, 134, 904
	(2) 会館運営費	24, 114, 454	22, 409, 023	26, 614, 188
	(3) 雑支出	17, 536, 774	8, 066, 453	11, 480, 039
計		580, 014, 413	511, 800, 304	475, 229, 131
経常利益（△は損失）		△ 47, 817, 080	△ 154, 701, 530	△ 167, 274, 235
5 特別利益				
	(1) 過年度損益修正益	1, 010, 655	1, 983, 464	505, 550
	(2) その他特別利益			10, 453, 381
計		1, 010, 655	1, 983, 464	10, 958, 931
6 特別損失				
	(1) 過年度損益修正損	5, 034, 720	1, 148, 055	617, 135
計		5, 034, 720	1, 148, 055	617, 135
当年度純利益（△は損失）		△ 51, 841, 145	△ 153, 866, 121	△ 156, 932, 439

5. 事業収益・事業費用の主なもの

(1) 使用料に関する事項

ア. 下水道使用料

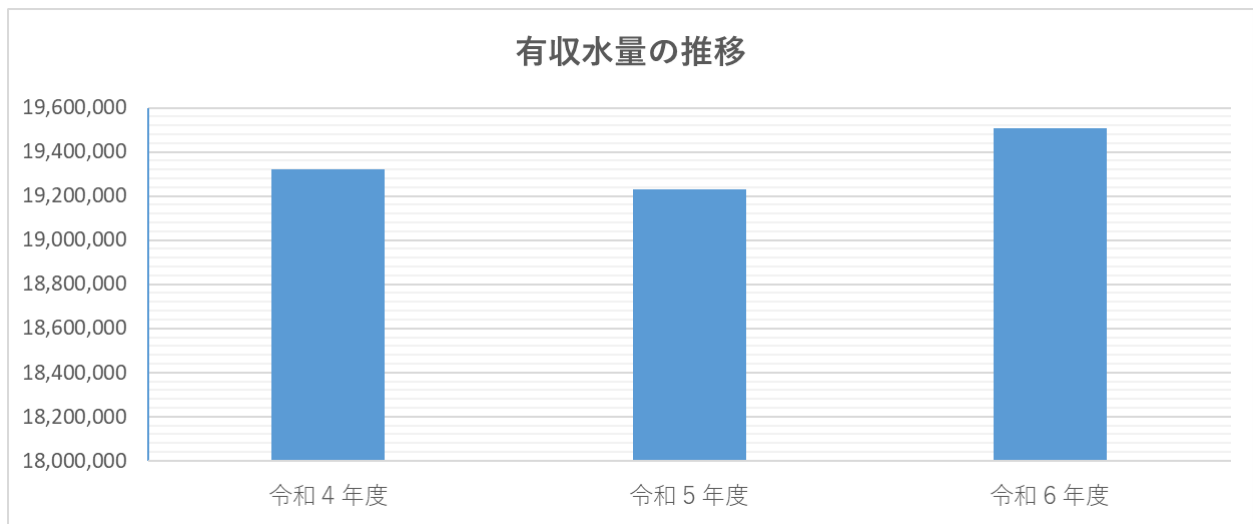


(単位:千円)

令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
3,207,119	3,193,210	3,261,836

下水道使用料については、人口減少の進行、節水意識の高まりや節水機器の普及等に起因して基本的には、減少傾向にあるが、令和6年度は、大口の需要者である事業者の新規立地などが影響し、増加した。

イ. 有収水量

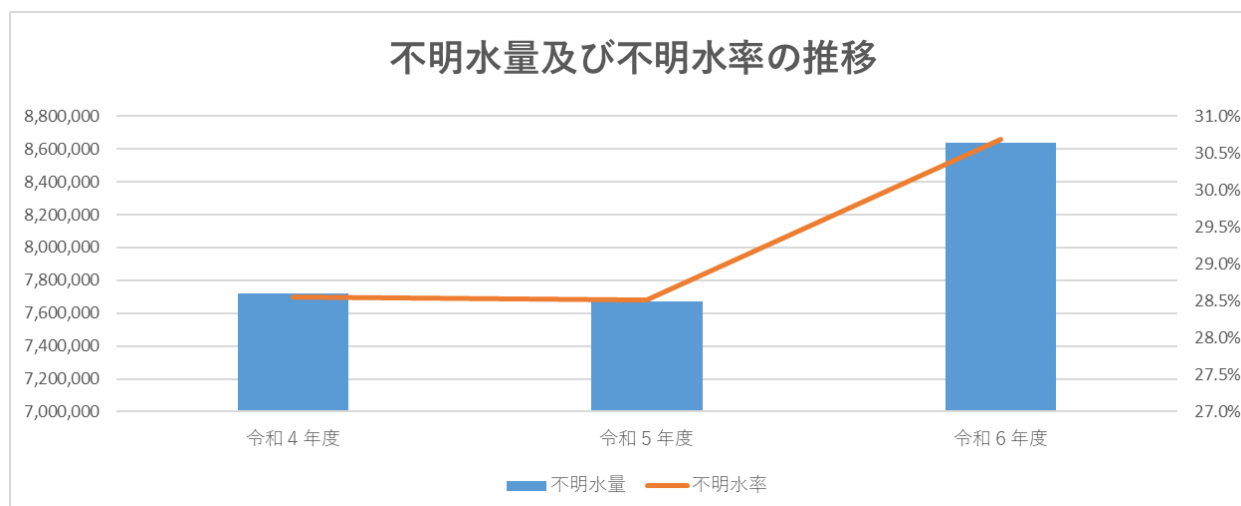


(単位:m³)

令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
19,319,878	19,229,258	19,506,176

有収水量についても、人口減少、節水機器の普及等により基本的には、減少傾向にあるが、令和6年度は、大口の需要者である事業者の新規立地などが影響し、増加した。なお、有収率を高めるために、不明水対策として污水管渠の更生工事等を行っている。

ウ. 不明水量及び不明水率



(単位:m³)

	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
不明水量	7,721,605	7,670,976	8,638,030
不明水率	28.6%	28.5%	30.7%

不明水量は、企業会計に移行した平成 28 年度以降の 3 カ年平均で 34.1%であったが、直近3カ年平均では、29.3%と減少傾向にある(令和6年度の増は台風 10 号による大雨などの影響)。

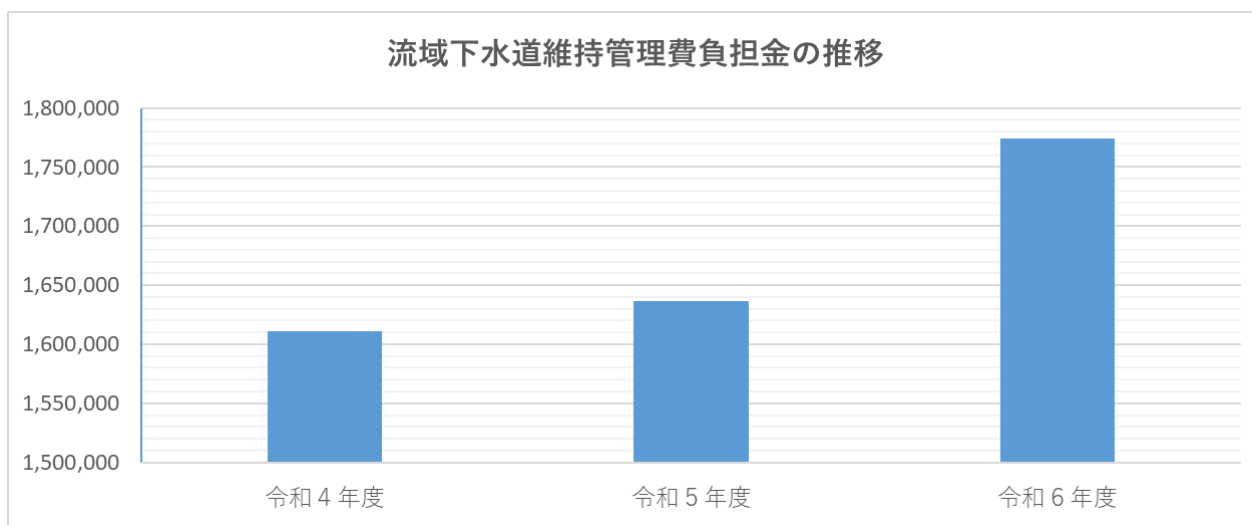
エ. ランク別使用料構成比

用途別	区 分 (m³)		1m³	令和 6 年度							
	(2 ヶ月分)		単価	水栓数	構成比	水量	構成比	金額 (税抜き)	構成比		
			(円)	(戸)	(%)	(m³)	(%)	(千円)	(%)		
一般汚水	0	～	16	基本料金	1	25,112	33.21%			1,246,055	6.39%
	17	～	20	41		5,718	7.56%			634,741	3.26%
	21	～	40	141	2	24,733	32.71%	1		4,470,721	22.93%
	41	～	60	168	3	13,546	17.91%	2		3,981,558	20.42%
	61	～	100	203		5,320	7.04%			2,322,854	11.91%
	101	～	200	229		686	0.91%			526,856	2.70%
	201	～	2000	237		444	0.59%			1,448,519	7.43%
	2001	～	10000	244		46	0.06%			1,205,216	6.18%
	10001	～		247		14	0.02%	3		3,660,862	18.78%
	計					75,619	100.00%			19,497,382	100.00%
公衆浴場				5		2				8,794	
合計	計					75,621				19,506,176	
										3,261,836	

※太字の数字は、水洗数、水量及び金額、それぞれの区分の順位を表している。

※基本料金は、2 か月あたり1,811円。

(2) 流域下水道維持管理費負担金



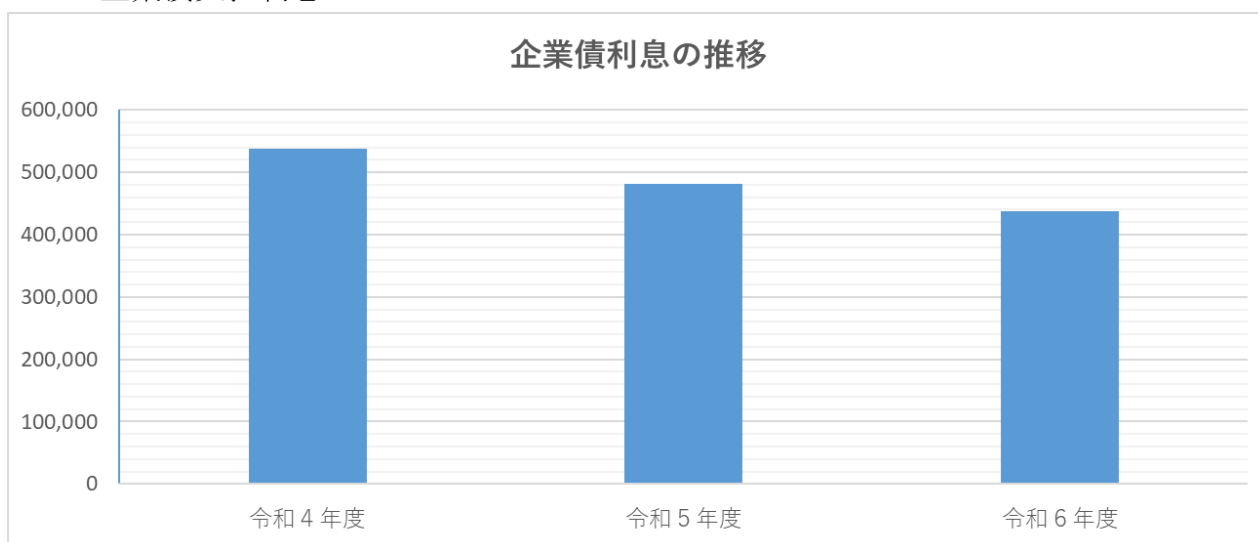
(単位:千円)

令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
1,611,357	1,636,609	1,774,346

流域下水道維持管理費については、本市を含む酒匂川流域関連の 10 市町で負担しており、本市は、市町負担金全体の約 65%を負担している。今後も負担額が増加する可能性がある。

(3) 企業債に関する事項

ア. 企業債支払利息

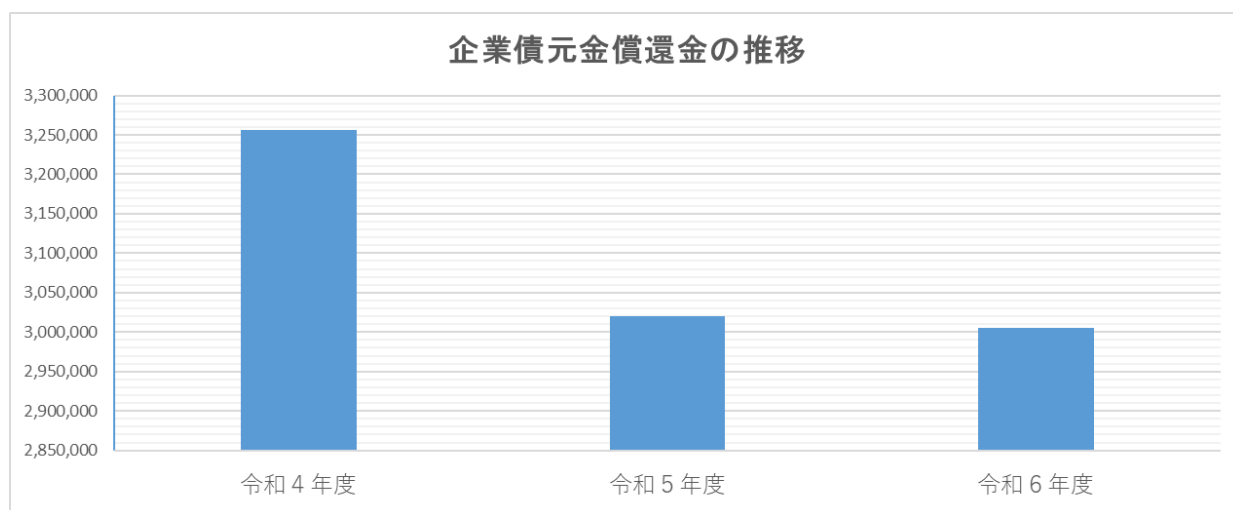


(単位:千円)

令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
538,363	481,325	437,135

企業債残高の減少と利率が比較的高い企業債の返済が進んでおり、減少傾向である。

イ. 企業債元金償還金

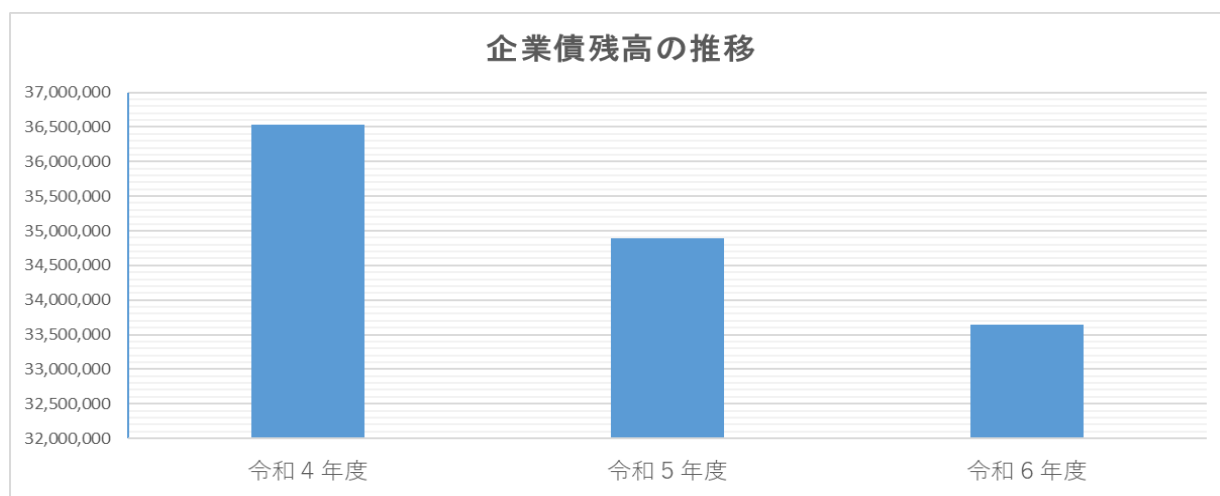


(単位:千円)

令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
3,256,227	3,019,937	3,004,872

企業債償還金についても減少傾向にある。

ウ. 企業債残高及び対下水道使用料比率



(単位:千円)

令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
36,535,082	34,889,045	33,646,473

引き続き、企業債元金償還金の範囲内で借入れを続けているため、減少傾向である。なお、参考までに県内同規模自治体の使用料対企業債比率は次のとおり。

下水道使用料対企業債残高比率（総務省：令和 5 年度地方公営企業年鑑より）

小田原市	平塚市	茅ヶ崎市	秦野市	厚木市	伊勢原市
1,093%	881%	936%	1,232%	634%	1,312%